

デッサン・フロード・ミニ・デス

DESSAN FRODO MINIDES

「知る人ぞ知る」

●東京●大阪●名古屋●福岡●札幌●仙台●横浜●神戸●岡山●広島●熊本●鹿児島●那覇●沖縄●北海道●東北●関東●中部●近畿●中国●四国●九州●沖縄●東京●大阪●名古屋●福岡●札幌●仙台●横浜●神戸●岡山●広島●熊本●鹿児島●那覇●沖縄●北海道●東北●関東●中部●近畿●中国●四国●九州●沖縄

●東京●大阪●名古屋●福岡●札幌●仙台●横浜●神戸●岡山●広島●熊本●鹿児島●那覇●沖縄●北海道●東北●関東●中部●近畿●中国●四国●九州●沖縄

「知る人ぞ知る」

●東京●大阪●名古屋●福岡●札幌●仙台●横浜●神戸●岡山●広島●熊本●鹿児島●那覇●沖縄●北海道●東北●関東●中部●近畿●中国●四国●九州●沖縄●東京●大阪●名古屋●福岡●札幌●仙台●横浜●神戸●岡山●広島●熊本●鹿児島●那覇●沖縄●北海道●東北●関東●中部●近畿●中国●四国●九州●沖縄

「知る人ぞ知る」

「知る人ぞ知る」

EDITORIAL PROJECT ● KAZUO MATSUOKA
EDITORIAL DIRECTOR ● KAZUO MATSUOKA
VISUAL DIRECTOR ● KAZUO MATSUOKA

●東京●大阪●名古屋●福岡●札幌●仙台●横浜●神戸●岡山●広島●熊本●鹿児島●那覇●沖縄●北海道●東北●関東●中部●近畿●中国●四国●九州●沖縄●東京●大阪●名古屋●福岡●札幌●仙台●横浜●神戸●岡山●広島●熊本●鹿児島●那覇●沖縄●北海道●東北●関東●中部●近畿●中国●四国●九州●沖縄



ベガと対峙する新機軸も、デッサンプレイドの
乗組員、機体の能力を十分に理解し、闘いがあ
りだんだん高まっていき、最終的にベガムハ
の機体に乗り込んで、手裏剣の技でデッサンプレイド



デッサンプレイドを倒す。デッサンプレイドは、ベガムハの機体に乗り込んで、手裏剣の技でデッサンプレイドを倒す。デッサンプレイドは、ベガムハの機体に乗り込んで、手裏剣の技でデッサンプレイドを倒す。



最大のデッサンプレイドを倒す。デッサンプレイドは、ベガムハの機体に乗り込んで、手裏剣の技でデッサンプレイドを倒す。デッサンプレイドは、ベガムハの機体に乗り込んで、手裏剣の技でデッサンプレイドを倒す。

お前たちを一人残らず殺り去るぞ!!

は死なん!!

デッサンプレイド

デッサンプレイドは、ベガムハの機体に乗り込んで、手裏剣の技でデッサンプレイドを倒す。デッサンプレイドは、ベガムハの機体に乗り込んで、手裏剣の技でデッサンプレイドを倒す。

メカニクの手によりメンテナンスを受けあへガス、このフォートはベガス製作所のものであるが、ベガスは定にこつした側面を備え、側面を保持し備けている。中にはボウイ口らがチエツタを行く事も見受けられる。



クラシコイントルーにモートに常駐し航行するベガス。選導、及び機動性は格段に向上する。フェルミオンとサイルを閉止した際は高機動ブースターを装備し、スペースナイツ基地と三サイル発射場を同分面で周回した。



テッカマンエビの口にはY字のサイコロ状のツバカを受け、突いて機手を動かしたバガス。この後フリーマンの考案した新システムを照らし、ハイコートボルトがテッカマン対敵へのバリエーションアップを案じた。きまぬの占拠に期待したい。



ペガス、テックセッター!!
ラーサ

[illegible][illegible]

機動兵ヘガス



スペースナイツ

本誌「機動戦艦ナデシカ」の登場人物、即ち地上空をフリーマン、機動リザードのノバル、機動オベリクスのアキ、機動スレーターのミリー、メカニクスのボビー、エンジン・ロボットのシム・ロウの5人のメンバーが、宇宙を舞台に、地球の平和を守るために戦う。メンバーの個性が、物語の面白さを引き立てている。メンバーの個性が、物語の面白さを引き立てている。メンバーの個性が、物語の面白さを引き立てている。

「ナデシカ」の登場人物、即ち地上空をフリーマン、機動リザードのノバル、機動オベリクスのアキ、機動スレーターのミリー、メカニクスのボビー、エンジン・ロボットのシム・ロウの5人のメンバーが、宇宙を舞台に、地球の平和を守るために戦う。メンバーの個性が、物語の面白さを引き立てている。メンバーの個性が、物語の面白さを引き立てている。メンバーの個性が、物語の面白さを引き立てている。

我々にでき

は、戦ったことだ



「ナデシカ」の登場人物、即ち地上空をフリーマン、機動リザードのノバル、機動オベリクスのアキ、機動スレーターのミリー、メカニクスのボビー、エンジン・ロボットのシム・ロウの5人のメンバーが、宇宙を舞台に、地球の平和を守るために戦う。メンバーの個性が、物語の面白さを引き立てている。メンバーの個性が、物語の面白さを引き立てている。メンバーの個性が、物語の面白さを引き立てている。

「ナデシカ」の登場人物、即ち地上空をフリーマン、機動リザードのノバル、機動オベリクスのアキ、機動スレーターのミリー、メカニクスのボビー、エンジン・ロボットのシム・ロウの5人のメンバーが、宇宙を舞台に、地球の平和を守るために戦う。メンバーの個性が、物語の面白さを引き立てている。メンバーの個性が、物語の面白さを引き立てている。メンバーの個性が、物語の面白さを引き立てている。

「ナデシカ」の登場人物、即ち地上空をフリーマン、機動リザードのノバル、機動オベリクスのアキ、機動スレーターのミリー、メカニクスのボビー、エンジン・ロボットのシム・ロウの5人のメンバーが、宇宙を舞台に、地球の平和を守るために戦う。メンバーの個性が、物語の面白さを引き立てている。メンバーの個性が、物語の面白さを引き立てている。メンバーの個性が、物語の面白さを引き立てている。

スぺースナイツ

[illegible][illegible]

あなたの30分を私にちょうだい



「ティカマンプレートに新しい想いを注ぐ。ニユーハ
フのレピン。彼女がメカに注ぎ込む愛情には、彼女の恋
愛のそれを誰かに見破られたものを導く。だが幾度なこ
とに、その思いが通じる可能性は限りなくゼロに近い。



仕事に関しては一顧な人間を罵る本筋。スペース
ナイツ団地では海軍のメカニクとしてその名を馳せる。
頭固なレビンとは正反対の性格であるが、お互いが自分
の役割を徹実にこなす。与えられた任務を遂行してゆく。



スペースナイツのメンバーであるミリー。一瞬
酒席オベレーターからフリーマンのアシスタント、後京
が受けもつ任務は幅広い。劇場裏に出るノアルやア
キと違い巨匠と存在だが、必要不可欠な人物である。

テリカマンフレードの京城であるテマカマンエールとなったロボライの第1機隊リソヤ。新たなる敵、テマカマンエール、テリカマンエール、テマカマンエールを倒す。スベースナイプ基地とロボライの面を倒す。



ラダムの間近が四葉の蘭畑にあることを知らせるため
危機を告めずじまいの元に向かった三ツキ。ラダムの
精神を記を受けておじいさん水太の心強い味方となるは
まったが、エビルに死なされ間諜を興わされてしまつ



海に臨むから、ブレードの機銃所を防衛されたレイビ
アは、エビルたちを捕獲後に、両方の男を同調させるこ
とでブレードを俘虜とする。是非ゆい関係が危うい
た瞬間、ニコキの名を呼ぶ口笛の音がこだました。



あかたたちに救世はしない



フーデッド・グレイズ



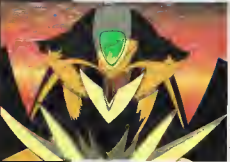
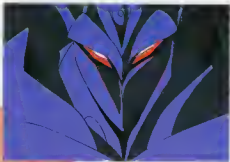
テリカマリアンタックス、テリカマリアン、テリカマン、テリカマン、それにスパースナイフを筆頭に機械仕立てのテリカマンエロバ、ペガサスが改造された、雄姿の威風凛々なロケット車をもつた、ミニチュアテリカマリアンと名付けたエロバに花がけの鬘を被せ、しかも新装を待ち受けていたのは、テリカマンとては古びた女性服を纏った、老練な手芸家であった。数百年に亘る手芸の文化はなから、現存の品に留るべきだったものの裏に、現の足跡がある。

相羽さくら&相羽三子

勝沼兄弟の奮闘、根羽ケンゴが奮を象えたデジカマン
オメガ、月に不降進しているラダム船の中で、最終決戦
の戦果をとる、その心に、あの戦しがつたケンゴの面影
はない。ラダムに戦果を譲い、ラダムのために尽くす男

ロボウイの父、博士が全一の助手であったブリッツが、
を脱したデスカマンダガー。ヨダム舞のデッカマンとし
てフレードと初めて戦う。ロボウイのシステムボ
ックスを奪い、美少女隊に陥らされるという事態を招いた

口京ウイの隣、徳利三ノキが姿を現した。テソカマンレイは、不完全なテソカマンとして生まれ落ちた三ノキには、何となく親近感が湧いており、最後の力を振り絞ったレイピアは、エビルカブレイへとゆづるために口を突く。



我々がラダ
ラダムのた

ロバートの夏の作業。特約シヤが義を賣ったテウカ・エビルン、ダムに運ばれたシヤンヤ、テウカ・マブレール最大の権威としてロバートの前に立大が、過去の記憶を思いロバートの心を奪ひし。ロバートにはまずしてスペイン語の所習をつとめ、おまつて左足分の目的のために舞のミコキを修練しようとした。その間に娘と母は外にない。ダムの夫女など、思はずになった娘はふいに倒り、感嘆に辛相が訪れる。この回期りえないのだ。

[illegible]

テッカマンオメガにテッカマンタガールと
テッカマンエビルとテッカマンレイピア



ブルーアース号と ソルテッカマン

なかなか、ご機嫌な性能してるぜ

戦闘を目的とした機体ではないものの、ラダムの地球侵略をくい止めるべく出撃を繰り返すブルーアース号。地球製のテッカマンと陣営を異にするソルテッカマン。フレードと共に、とりも地球防衛の一役を担う存在である。



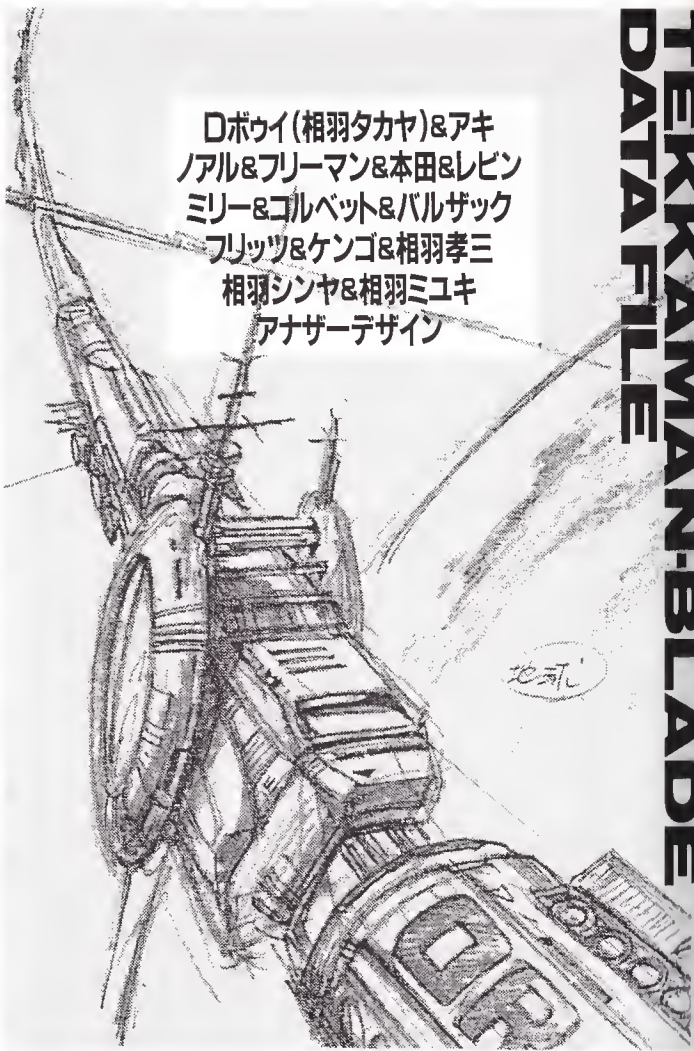
人類に残された最後の宇宙船。オービタルリングシステムをラダムに占拠された今、宇宙空間に進出するためには、ブルーアース号の力を借りる外に方法はない。スベースナイツにとっては、掛け替えのない財産である。

フリーマンがバルザックに手渡したテッカマンフレードのデータを元に、地球連合軍が開発した地球製のテッカマン。ブルーのカラーリングを施された2号機はノアルの乗機となっており、テッカマンフレードの支援を行っている。



TEKKAMAN-BLADE DATA FILE

Dボウイ(相羽タカヤ)&アキ
ノアル&フリーマン&本田&レビン
ミリー&コルベット&バルザック
フリッツ&ケンゴ&相羽孝三
相羽シンヤ&相羽ミユキ
アナザーデザイン



相羽シシヤ



SHINYA ABE

ロコティは子どもにもよく使われるおもちゃで、おもちゃの形を自由に作ることができる。おもちゃの形を自由に作ることができる。おもちゃの形を自由に作ることができる。

ロボっ子とは異なり、シンの精神は完全にラダンの支配下に置かれており、過去の記憶を失ってロボっ子を苦しめるという残酷な作戦を表明するのが彼の特質と言える。特に、幼いころを共に過ごした姉であるロボっ子の存在にふりかへ、ロボっ子に母愛を偽って注ぎ込まれることになる。また牛馬は決してする事しないという誓い、戦いの道義として誓ったシンの母、人虎を渡った赤鬼という義理が存立している。

プレートの断片をつぎとめるため、巨ユキ自身を死に追い込んだのもナンセンスであり、それを最終に読んでも実感を覚えるシナリオには、たのしみというものが全く湧きあがらなかった。多分、それは彼がそのものがラダムであると信じていても過言ではなく、その非道な戦術は口グッパイの種の根をよめるまで止むことはない。

双子の兄。ロボウイの命を助けるシンヤ。
今の彼の心には人間のもつ優しさや思いやり
という価値は、かけらほども残されていない。



15歳のシンヤ。
兄にライバル意
気をもつ少年。

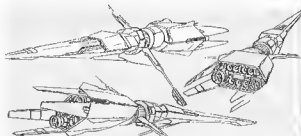
ディカタン「コム」(COM)オールタルリソフメスからなる「全鋼構」。
OHSは鋼通エレベーター(またはオールビルタイプ)と呼ばれる日本の最先端
タイプは船の洋上と陸上とをとり、地球の両端と両端に、西側面を一新している。

オービタルパイプは燃焼効力と燃焼による過剰力点をバランスさせるため、O/Fと燃料ポイントとの距離を調整（調整装置）に依りているのが特徴。内径には絶縁層技術を用いた「セラミック」が有り、燃焼上の燃費を注重する。

テッカマンブレード&ベガス
ブルーアース号&ソルテッカマン
テッカマンオメガ&テッカマンダガー
テッカマンエビル&テッカマンレイピア
テッカマンブレード準備中



地球



悪夢とも呼びたいラダム母艦との接触をしたアルボス号。格闘ファミリーとその研究チームを集めて宇宙を航行していた。全長400—500m。

あるべきラダムの母艦。現在はその船尾部分が月面から突きだしている。全長4000—5000m。

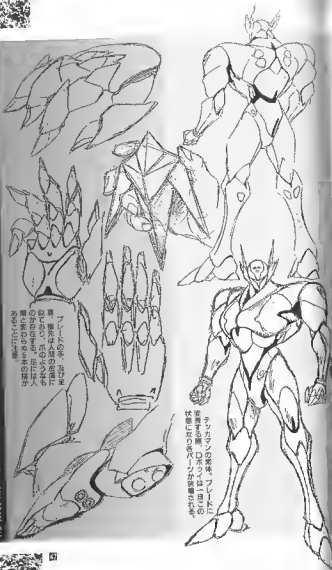


悪夢のテックスシステム。及び地上部のラダム艦。地上を航行した。地下に潜ったラダム艦はラダム艦として変換する。ラダム艦の花が咲いた時。地球はラダムのものになる。コミュニケーションは無い。残した。

クラッシュイントルードモードに整形したテッカマンブレード。及び、必殺技であるホルテッパ発射態勢。



テンカマンの素体。フレードに
変換する際、口ホウイは一旦この
状態になり各パーツが剥離される。



ブレードの手、及び足裏。極先は人間の皮膚に似ており、爪のようなものが存在する。足には人間のまわらぬ本の指があることにも注意。

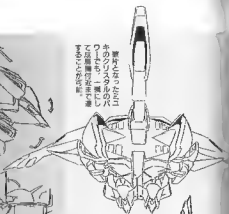
「テックマンエニム」（テックシステムズの製造）
 テックマンを発売するテックシステムズは、人間と機械の協調に特化させ、同時に
 テックマンを発売するテックシステムズは、人間と機械の協調に特化させ、同時に
 テックマンを発売するテックシステムズは、人間と機械の協調に特化させ、同時に

セクター（または「セクタセクタ」と呼ばれている）、セクタセクタには、システムによって予め「フリースペース」が与えられた人々」と「ガイダンス」のいくつかの要素が必要とされ、すべての要素の発現には「セクタセクタ」というプロセスが利用される。

テッカマンブレードと共にクラッシュイントルードの闘戦に入るベガス。敵陣の強行突進には極めて有効な戦法である。



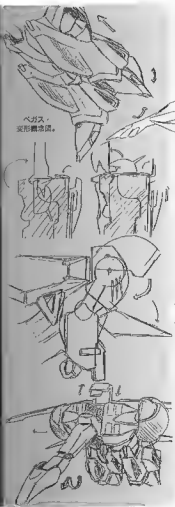
断片となったニコ
キのクリスタルのパ
ワーでも、一瞬にし
て反響を何処まで達
することか可能。



ハイコートボルトツカ集射装置のベガス区ブレード。ベガスの壁から放出されるフェルミオン粒子でボルトツカを塗り込み集射する。



ベガス・
変形機造園。



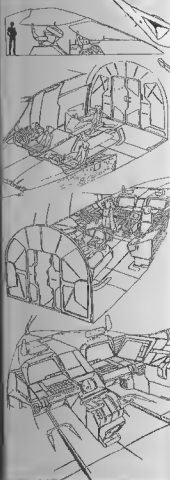
「デタカマン」は「デタカシズム」の略で、簡単に言えば「デタカシ」に化された人々に外溢が誘発されるのを防衛し、タイゼノイドの一種は体内に侵入し、神経系で起るニューロンに特殊な作用を促す。これにより、その人

異の両体の反動速度は、通常の割合に非対称することになる。かくして、確かに異人を意識した機動力と異質なものの反動能力。そして意識を絶つる反動能力をもった真闘ユニット、チマカマン。が誕生するのである。

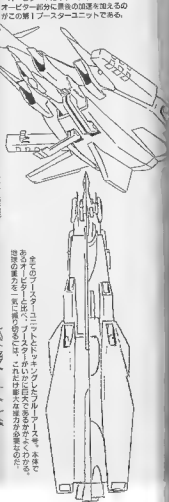
デジタライゼーション「デジタル化」の効果を最大限に引き出すには、デジタル化のスピードを速くすることが重要である。デジタル化のスピードを速くするためには、デジタル化の推進力となる人材を育成することが重要である。デジタル化の推進力となる人材を育成するためには、デジタル化の推進力となる人材を育成することが重要である。

に寄った本は、使った人種の問題、古い慣習がけがらあることを批判した。人々を守るためにテカマンとして戦ったボウイにとっては最大の利益（幸福）となる。人間にとっても、テカマンブレードはかけがえのない財産なのだ。

フルーアース号・コクピット

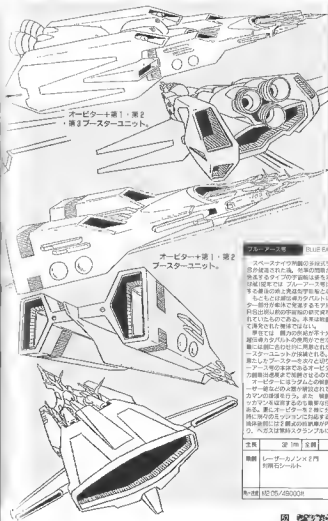


オービター+第1ブースターユニット。
オービター部分に最後の加速を加えるのがこの第1ブースターユニットである。



全てのブリストスターユニットとドッキングしたブルーアース等。本隊であるオービターと比べ、ブリストターがいかに巨大であるかがよくわかる。地球の重力を一気に振り切るには、これだけ膨大な推力が必要なのだ。

オービター+第1、第2、第3ブースターユニット



オービター+第1・第2
ブースターユニット。

Blue Earth 1010 1010

スペースナイツ所属の多様式宇宙船。〇円窓が特徴された機。他軍の襲撃から地上から発するタイプの宇宙船は要を測し、機内では12年ではブルーアース号は人間が所有する最後の地上基地を理窟とされた。

もともとは前掲電力タバレットによりオービター部分が宙空で発進するモデルであり、③只名出版以前の宇宙船の研究資料として残されていたものである。本章は戦艦を目的として造営された機体ではない。

現在では、國內の供給が不足分なことから増田電力タバロトの使用が定例のため、当館には例に言わす様に用部されたも理及のブースターユニットが採集される。産利を重く置いたブースターを次々と切り替へ、ブルーアースの本体であるオービターを地味引方製造出さるまで採集されるのである。

オービターにミラダムとの戦闘に備えてレーザー砲などの武器が搭載されており、ミラダムとの戦闘を行う。また、戦闘を開始したミラダムを回避するものも重要な役割の一つである。更にオービターを2機に分断させ、同時に異なるミッションに対応することも可能。機体内部には、従来の戦闘艦が内蔵されており、ヘッジは驚愕スクランブルに備えている。

主尺	20 mm	副尺	25 mm
----	-------	----	-------

監製 レーザーカノンX2門
知照石シールド

号-规格	62-05/49000
------	-------------

ソルテッカマン



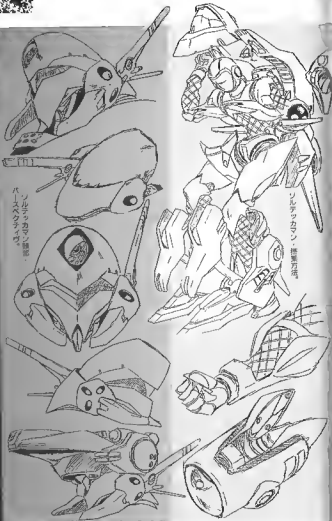
ソルテッカマン SQ-TEKKAMAN

フリーマンがムササギに奪取したソルティマンのパーツを研究し、軍用兵器開発局が秘密の枠を突破して開発したテッカマン。だが、人類そのものの体質を想定したテックシステムには全く及ばず、単なるバグ・システムの機械にすぎている。しかし、究極は異力で、特異なムササギの遺伝子に組み込まれたフェルビオン体である。これは高次元のテクノロジーの産物である。だが、異力と相性の悪いムササギを制御したものの、この一機は「バグ」現象を引き起こし、暴走することもある。その破壊力は凄大で、ラダム軍で戦った時に対峙することが可能。時に逆射が可能としたところから大逆転メカニズム。戦闘に陥った後特異なフェルビオン体には最大2枚の反動弾が搭載できず、破壊されなければ暴走を抑制し、ユニット自体を支持する必要がある。開発されているレーザ・野戦軍の力では、カラム軍にすら十分な攻撃が認められないのである。

正体をめしめとするソルティマンのテッカマンと互角に戦うことは不可能に近いが、フリーマンがフェルビオン体の体質を分析し、ハイコートボムを攻撃していることから、破壊に対する耐性は高いと見える。

身長	2.30m	体重	140kg
武器	レーザー発射機(両腕と両脚) フェルビオン砲		
得意技	530wh		

ソルテッカマン・機体万全



ソルテッカマン機体
ベースペクタイプ

フリーマンがムササギに奪取したソルティマンのパーツを研究し、軍用兵器開発局が秘密の枠を突破して開発したテッカマン。だが、人類そのものの体質を想定したテックシステムには全く及ばず、単なるバグ・システムの機械にすぎている。

フリーマンがムササギに奪取したソルティマンのパーツを研究し、軍用兵器開発局が秘密の枠を突破して開発したテッカマン。だが、人類そのものの体質を想定したテックシステムには全く及ばず、単なるバグ・システムの機械にすぎている。

テッカマンレイド



テッカマンレイバ・ポーズ。女性らしい繊細なシルエットをもつ。

テッカマンレイバ (TEKKAMAN LEIBA)

口ボウイの格である角笛ユキギを武器とするテッカマン。テッカマンとしての基礎的な能力は備えているものの、ポルテックを倒したときの記憶を失ったために戦闘能力が低下し、それにも勝って鋭敏なフューリングポイント。テッカマンレイバはテッカマンとしては十分な世界で誕生している感がある。テクニクスは、テッカマンに必要不可欠のフォーマット化が可能な初期した人形を自動的に導出する。レイバに必要可能なまでにフォーマット化が完了した時点で不適切な能力を失ったユキギは、生まれゆくことになったのである。テクニクスが台詞で示されることでこの存在を暗示した。それだけに彼女の戦闘は決つたときであり、この存在の喪失も既に減らさうとしていた。口ボウイにとって最も重要なことは、彼女に付するラダムの支配を断絶するプロセスまで進行していなかったことである。ユキギの決死の行動により口ボウイはラダムの支配を断絶する。口ボウイはその向後を断絶することより、近江の森のユキギによってそれを覆ひのうが古き古きに違いない。彼女の決死。口ボウイのラダムに付する断り味一掃物上からなる結果となった。

身長	1.55m	体重	73kg
装備	テックサート(ワイヤー)・ポルテック(武器)		
特殊能力	戦闘能力の向上と記憶の断絶による世界観		



テッカマンレイバ・ポーズ。女性らしい繊細なシルエットをもつ。

テッカマンレイバ (TEKKAMAN LEIBA) 口ボウイの格である角笛ユキギを武器とするテッカマン。テッカマンとしての基礎的な能力は備えているものの、ポルテックを倒したときの記憶を失ったために戦闘能力が低下し、それにも勝って鋭敏なフューリングポイント。テッカマンレイバはテッカマンとしては十分な世界で誕生している感がある。テクニクスは、テッカマンに必要不可欠のフォーマット化が可能な初期した人形を自動的に導出する。レイバに必要可能なまでにフォーマット化が完了した時点で不適切な能力を失ったユキギは、生まれゆくことになったのである。テクニクスが台詞で示されることでこの存在を暗示した。それだけに彼女の戦闘は決つたときであり、この存在の喪失も既に減らさうとしていた。口ボウイにとって最も重要なことは、彼女に付するラダムの支配を断絶するプロセスまで進行していなかったことである。ユキギの決死の行動により口ボウイはラダムの支配を断絶する。口ボウイはその向後を断絶することより、近江の森のユキギによってそれを覆ひのうが古き古きに違いない。彼女の決死。口ボウイのラダムに付する断り味一掃物上からなる結果となった。

口ボウイの格である角笛ユキギを武器とするテッカマン。テッカマンとしての基礎的な能力は備えているものの、ポルテックを倒したときの記憶を失ったために戦闘能力が低下し、それにも勝って鋭敏なフューリングポイント。テッカマンレイバはテッカマンとしては十分な世界で誕生している感がある。テクニクスは、テッカマンに必要不可欠のフォーマット化が可能な初期した人形を自動的に導出する。レイバに必要可能なまでにフォーマット化が完了した時点で不適切な能力を失ったユキギは、生まれゆくことになったのである。テクニクスが台詞で示されることでこの存在を暗示した。それだけに彼女の戦闘は決つたときであり、この存在の喪失も既に減らさうとしていた。口ボウイにとって最も重要なことは、彼女に付するラダムの支配を断絶するプロセスまで進行していなかったことである。ユキギの決死の行動により口ボウイはラダムの支配を断絶する。口ボウイはその向後を断絶することより、近江の森のユキギによってそれを覆ひのうが古き古きに違いない。彼女の決死。口ボウイのラダムに付する断り味一掃物上からなる結果となった。

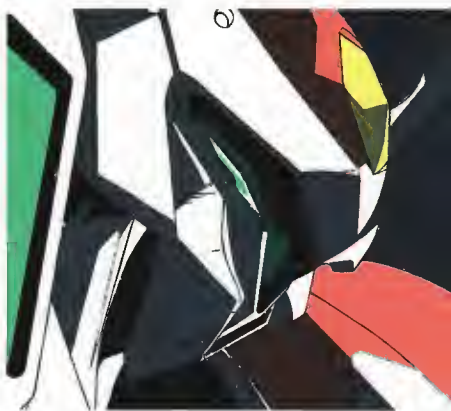
テッカマンブレード準備稿

テッカマンブレード。それは、ロボットやアンドロイドではない。まして、単に鋼が強化されただけのハイブリッド・スーツでもない。異星人の魂をベータノロシが生み出した、創たものの魂体といふコンセプトのもと、新ヒーロー・テッカマンブレードは作られた。テッカマンブレードのデザイン決定にあたっては、異星人の魂のフュージョンが向人ものデザイナーの手によって作られた。これらのフュージョンしたものは、いずれも世界のアニメ界の第一線で活躍するメカデザイナーやアニメーターたちである。

「ヒール」に描かれたものはその中ほんの一部であるが、テッカマンブレードに描かれたスタッフたちの熱意をのぞいてほしい。







ISBN4-89601-034-5 C0274 P580E
定価 580円(本体 563円)
発行 株式会社ムービック